


# 一般質問通告書

次のとおり、質問したいので通告します。

平成26年2月17日

山北町議会議長 池谷 莊次郎 殿

受付番号	第5号	質問議員	8番	熊澤友子 
件名	がん検診受診率向上と予防接種への取り組みは			
要 旨				
<p>1. 女性特有のがん検診では、2009年度から2013年度までの5カ年度、子宮頸がんは20～40歳までの5歳刻みの年齢、乳がんは40～60歳までの5歳刻みの年齢をそれぞれの年度に迎える女性に対し、がん検診の無料クーポン券の配布がおこなわれました。本町では、無料クーポン券で受診した方の受診率は、子宮頸がんは27.6%、乳がんは35.9%と無料クーポン券はがん検診受診率向上に大きく役立ったと思われませんが、本年3月で終了となります。</p> <p>国の2013年度補正予算が成立し、がん検診個別受診勧奨制度（コール・リコール）が国の制度としてスタートしました。内容は電話や手紙などによる個別受診勧奨（コール）と再勧奨（リコール）を実施することと、その際のがん検診の無料クーポン券を一部発行し、検診費用の助成をおこなうことです。この制度の対象者に、がん検診の大切さを知っていただくためにホームページに掲載し、個人への通知をきめ細かくおこなう考えは。</p>				
<p>2. 胃がんの90%以上はピロリ菌の感染による胃炎が原因で、ピロリ菌を除菌すれば、胃がんの発生を抑制することが可能である。採血による血液検査で、胃の中のピロリ菌の有無と胃の粘膜の萎縮を調べ、胃がんの発症リスクの度合に応じてA・B・Cなどと分類・判定する検診方法です。本町では、2014年度よりこの検診方法を導入しており、187人が胃がんリスク検診を受診し、2013年度と</p>				

比較して 87 人増とのこと。胃がん検診の受診方法や効果を理解して受診していただけるようなチラシ等を全戸配布する考えは。

3. 昨年の 3 月議会の一般質問で、高齢者肺炎球菌ワクチンの公費助成について質問いたしました。2014 年度に実施する方向で、との答弁でした。厚生労働省は、幼児期にかかる水ぼうそうと高齢者を対象にした成人用肺炎球菌のワクチンについて、自治体がおこなう定期予防接種に加えることを決定し、2014 年 10 月より実施するとのことだが、国の制度スタートを待たずに 2014 年度当初より実施するべきと思うが、町の取り組みを伺います。